

出張しがちなあなたへ

林田明子

神奈川県・二七・主婦

今日も又、あなたはいません。二カ月前に北京へ出張したきりです。少しは慣れたとはいえ、あなたを見送る時は涙がにじみます。あなたのいない一日はとても長い一日です。もう何年も有紗と二人だけで暮しているように感じます。気付いているかもしれないませんが、久しぶりに帰って来たあなたに会うと、私は何だかドキドキします。そしてようやく照れずにあなたと一緒にいられるようになった頃、又出張です。

あなたが初めて北京へ旅立ったのは、結婚して一年足らずの九月の中頃でしたね。玄関であなたは私に「頼んだよ」と言いながら、生後三週間の有紗を手渡しました。私は精一杯微笑んで、大きくうなずいたつもりですが、どうだったでしょうか。単身での中国研修が決まった時から、笑顔で送り出そうと心に誓ったのです。

それからの毎日あなたがいればと、考えない日はありませんでした。子供は日増しに成長して行きます。寝返りをうち、ハイハイをし、歯が生え、歩く。あなたと一緒に

に見守りたかった。祝事も色々あります。お宮参り、お食い初め、お正月、初節句。あなたと一緒に喜びたかった。どんなに言葉を尽くしても、あの日の様子をあなたに伝えることは出来ません。そして私は、その風景の中に居るべきはずのあなたのない寂しさを噛み締めました。

一年後に帰国してからのあなたは一層忙しく、出張しがちです。でも、子供が子供でいてくれるのはほんの短い間です。時間の許す限り抱いて下さい。話かけて下さい。あなたが思うよりも、有紗はあなたを必要としています。

私はもう少し待つことにします。いつか二人きりになる日を楽しみに。それまでどうか体を大切にして下さい。あなたは私達のかげがえのない家族です。どこにいても、何をしていても、それだけは忘れないでいて下さい。

*有紗は現在二歳二カ月の娘です。